

平成二十二年二月十八日提出
質問第一四〇号

高井美穂文部科学大臣政務官の日教組教育研究全国集会出席に関する再質問主意書

提出者 馳 浩

高井美穂文部科学大臣政務官の日教組教育研究全国集会出席に関する再質問主意書

高井美穂文部科学大臣政務官の日教組教育研究全国集会出席に関する質問主意書を本年一月二十六日に提出し、二月五日に答弁書の送付を受けたが、納得のいく答弁を頂いていないところがある。

従って、次の事項について再度質問する。

一 「日本教職員組合から、文部科学大臣に対し、第五十九次教育研究全国集会への出席を求める依頼があったため、文部科学大臣の判断により、日程等を勘案し、高井美穂文部科学大臣政務官が出席することとしたものである。」との答弁を頂いたが、理由について抽象的であり、不分明である。勘案した条件に挙げられている「日程等」の、日程以外の「等」の内容を具体的に示されたい。

二 「日教組から文部科学省で政務を担う国会議員に対して、本年以前も教育研究全国集会への出席の要請はあったのか。出席要請があった際は、これまで文部科学省で政務を担う国会議員が教育研究全国集会に出席してこなかった理由如何。」という質問に対し、「これまでも、日本教職員組合から、文部科学大臣に対し、教育研究全国集会への出席を求める依頼があったが、これらに対しては、文部科学大臣からメッセージを出すことにより対応してきたところである。」との答弁を頂いたが、「メッセージを出すことに

より対応してきた」では、質問後段部分の「これまで文部科学省で政務を担う国会議員が教育研究全国集會に出席してこなかった理由如何」についての回答にはなっていないので、再度質問する。

三 高井美穂文部科学大臣政務官は日教組教育研究全国集會に「文部科学大臣政務官の職務として出席したものである。」との答弁を頂いた。政務官としての出席であることから公務であり、五十九年ぶりに教育研究全国集會に出席した文部科学省の政務を担う国会議員が、どのような挨拶を行ったかは国民の重大な関心事である。従って、日教組教育研究全国集會における高井美穂文部科学大臣政務官の挨拶文を公開されたい。もし、公開されている際は、閲覧先を示されたい。

右質問する。